

## ベトナム市場向けに累計出荷量 1.4GW を達成

### ー 太陽光発電システム用パワーコンディショナでトップシェアを獲得 ー

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:山脇 雅彦)は、大容量太陽光発電システム向けパワーコンディショナ(以下、PCS)のベトナム市場向け出荷容量が、2019年5月末までで累計1.4GWに達しました。

ベトナム政府は、2014年時点で総電力に占める割合が0.1%以下であった再生可能エネルギーを2030年までに21%まで引き上げる計画を掲げており、その促進に向け、2017年6月に再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT:Feed in Tariff)を施行しました。

特に太陽光発電については、2017年初から2019年末までにおよそ2.9GW(DCベース)の発電所が稼働する見通しです<sup>\*1</sup>。TMEICは、豊富な実績、多様な製品ラインアップ、グローバルでの供給体制により、これらの需要に対応し、2019年5月末時点での同国PCS市場でトップシェアを獲得しました。

#### <ベトナム市場における当社の強み>

1. 全世界で、17GW超<sup>\*2</sup>の豊富な納入実績
2. 「SOLAR WARE STATION(コンテナソリューション)」、「Power Plant Controller(出力電圧制御)」など、多様な顧客ニーズに応えるラインアップ
3. 市場に近い中国、インドの製造拠点を活かした供給体制

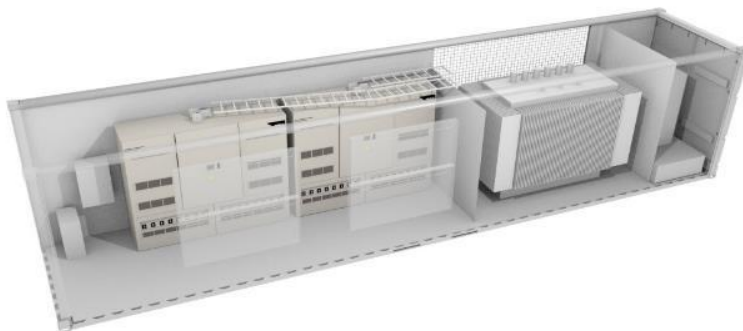
産業第三システム事業部長 澤田 尚正コメント:

「ベトナムの太陽光発電市場は今後も拡大が予想されており、TMEICは業界のトップランナーとして、引き続き同市場の需要・ニーズに応えられるように、努力してまいります。」

#### 【参考1】 SOLAR WARE STATION の特長

- ① PCS、昇圧用変圧器、高圧遮断器をコンテナに一括収納したワンストップソリューションによる現地作業簡略化と建設コスト削減
- ② メンテナンス性とシステム品質の確保
- ③ 高温地域や塩害地域など過酷な環境への適合性

#### 【参考2】 SOLAR WARE STATION の参考図(入力電圧:1500Vdc、出力容量:5.1MW)



\*1) IHS Markit社調べ。  
\*2) ベトナム市場を除く。

## 報道関係からのお問い合わせ先

---

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <http://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。